

日本語教育支援充実事業業務委託に係る公募型プロポーザル評価基準表

評価項目	評価項目詳細	評価内容	評価基準	配点
①企業・団体概要	事業受託実績	5年以内に類似業務を実施もしくは自治体で受託した実績があるか。 (学校で実施 5 pt、公的機関で実施 3 pt、民間企業で実施 1 pt)	20 1 5 pt以上 15 1 0 ～ 1 4 pt以上 10 5 ～ 9 pt以上 5 1 ～ 4 pt以上 0 0 pt	20
②業務の計画案	(1) 業務の理解度	仕様書の項目に即しているか？	5 優れている 3 標準 1 やや劣っている	5
	(2) 実施内容	カリキュラム・教材・指導方法は適切で効果的な内容となっているか。	20 特に優れている 15 優れている 10 標準 5 やや劣っている	20
	(3) 実施体制	指導者・その他従事者の配置体制が整っているか。	10 日本語指導の実務経験10年以上ある者が2名以上 7 日本語指導の実務経験5年以上ある者が2名以上 3 日本語指導の実務経験3年以上ある者が2名以上 1 日本語指導の実務経験1年以上ある者が2名以上	10
	(4) 管理体制	勤怠管理、要望・苦情対応方法、及び業務報告を行う仕組みや運用は明確であるか。	5 明確である 3 標準 1 やや劣っている	5
③人材採用・育成	採用基準・研修	指導者等の採用基準はふさわしいものか。研修体制が十分に整っているか。	10 年間3回以上の研修を開催 5 年間 1 ～ 2回研修を開催 0 研修開催なし	10
④コスト	妥当性	業務内容に見合った適正な積算となっているか。	【自動計算】 計算式：（最低見積事業者額／当該事業者見積額）×20 ※小数点第一位を四捨五入	20
⑤その他		提案内容に独自性があるか。次年度以降の活動展開は発展的で魅力あるものか。	10 優れている 5 標準 1 やや劣っている	10
合計				100